

SDGsと教育



SDGsの目標達成に向けて、国や企業がさまざまな取り組みを行っていますが、学校教育でも同様に取り組みが進められています。

2020年度から2022年度にかけての学習指導要領の変更では、その前文に「持続可能な社会の造り手となることができるようにすることが求められる」と明記され、小学校の家庭科や道徳、中学校の社会科や理科、技術・家庭科など、様々な教科で「持続可能」やSDGsに関連する内容が盛り込まれています。それを受けて入試でもSDGsに絡んだ出題が増えてきているようです。

中学入試でのSDGs関連の出題例としては、

SDGsの日本語の名称は？
「持続可能な開発目標」をアルファベット
4文字で表すと？

といった基本的な問題から、

ウミガメがビニール袋を誤飲して死んでしまう問題に関して、

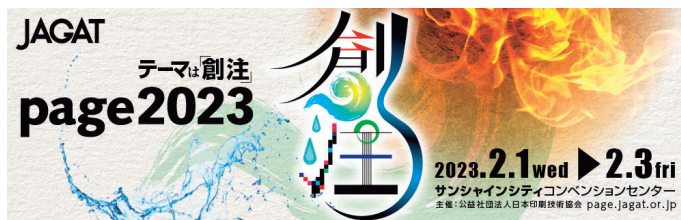
ウミガメをこうした被害から救うために、
どのようなビニール袋を作れば良いと思
いますか？ あなたの考えを答えなさい。

ただし、ビニール袋として通常使用できる
利便さは失われないものとします。

というような、単なる知識だけではなく、表現力や問題解決力、オリジナルな発想力が問われる問題まであるようです。

こうした教育の効果により、若年層ほどSDGsの認知・理解が進んでいるという調査結果があり、消費行動や就職など、今後の経済活動を大きく変えていくことが予想されます。SDGsに積極的に取り組む姿勢が、企業側にも求められています。

page2023



印刷メディアビジネスの総合イベント「page2023」が、1月31日のオンラインによる基調講演で開幕し、2月1日から3日まで、リアル展示会が開催されます。36回目の開催となる今回のテーマは「創注」です。この「創注」には、スマートファクトリーやDXなど、取り組むべき課題が山積する一方で、コロナ禍やウクライナ問題などを起因とする物価上昇が続く市場環境で生き残るためには、仕事を創ることが最優先事項であるとの思いが込められているようです。

また、「page2023カンファレンス・セミナー」が2月6日から10日まで、オンラインで開催されます。今回のカンファレンスでは、需要創造のための体制、物価高騰と持続性に対応する経営、Web時代の印刷技術を意識した内容が予定されています。

セミナーでは、創注の源である人のスキル向上を意識して、新市場として親和性の高い動画やDMに着眼して課題と方向性を探り、現場の再構築や業務改善などが取り上げられることになっています。

ご参加の際には、「page2023」専用サイトをご確認下さい。

<https://page.jagat.or.jp/>

JS環境委員会短信

2月3・7日のEMS本審査へのご協力お願いいたします。

本社 環境委員会メンバー

委員長：下鳥治

委員：小井土昌弘 河野純一 庄司亜佐子

曲師里奈 森智史



株式会社ジャパン・スリープ
本社：札幌市